

模擬患者（S P）参加型 医療コミュニケーション研修

SPって？

まず見て体験し
てみる

患者さんとのコミュニケーションにおいて、実際、患者さんからどう感じたかをそのまま聞くことは少ないと思われます。模擬患者（SP）の役割は、それをそのまま素直に伝えることです。昨年に引き続きSP参加型の医療コミュニケーション研修を実施します。

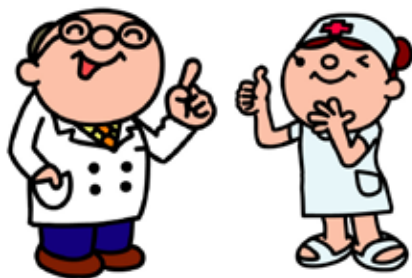
まずは体験を、どなたでもお気軽にご参加ください。

※模擬患者（SP）とは

『ある疾患の患者の持つあらゆる特徴（単に病歴や身体所見にとどまらず、病人特有の態度や心理的・感情的側面にいたるまで）を可能な限り模倣するよう訓練を受けた健康人』とされています。

日本では通常、医学生のコミュニケーション教育で『生きた教材として患者役を演ずる人』のことをいいます。

Simulated Patientの頭文字をとってSP（エスピー）と呼ばれています。



日時

平成27年 7月4日（土） 13時～17時

場所

高知県立大学 本部・健康栄養学部棟3階

対象

教職員・学生（高知医療センターの職員も参加）

講師

NPO法人 響き合いネットワーク・岡山SP研究会
代表 前田 純子氏
ほか SP3名・ファシリテータ3名

参加希望者は、6月15日（月）までに 企画連携課 しょうがせ ゆひ 勝賀瀬・由比へ
電話、メールでご連絡ください。（内 6119・6138） kikaku@cc.u-kochi.ac.jp